



阿賀町 議会だより

ガンバロー 日本!!

～阿賀津川中
青龍祭～

No.26
2011.11

9月定例会
委員会報告
11人が町政を問う

2～3P
4～5P
8～18P

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
発行責任者：議長 斎藤秀雄

〈新潟・福島豪雨〉 被害総額は約30億円!

専決処分等ですみやかに対応…

7月27日より30日まで降り続いたこの度の大雨は当町に尽大な被害をもたらしました。
7月29日に災害対策本部を設置し、8月1日よりボランティアセンターを立ち上げ多くの方々の協力がありました。

阿賀町災害概要

1. 雨量

(単位:mm)

区分	津川観測所			室谷観測所		
	今回	7.13水害	過去最大	今回	7.13水害	過去最大
日降水量	209.5	232.0	251.0	152.0	294.0	294.0
1時間降水量	68.5	41.0	46.0	63.5	59.0	70.5
連続雨量	194.5	247.0		150.5	317.0	
総雨量	360.0	256.0		379.0	347.0	

気象庁データを参照



国道49号線の崩落(大牧地内):H23年11月末の完成予定

2. ダムの流入量

区分	最大流入量(t)			
	今回	7.13水害	過去最大	
新郷ダム(喜多方市)	6,000	4,800	7,400	昭和33年
豊実ダム(鹿瀬地域)	7,500	5,200	7,200	昭和33年
鹿瀬ダム(鹿瀬地域)	7,600	5,700	7,300	昭和33年
揚川ダム(三川地域)	8,100	6,800	6,800	平成16年

榊東北電力からの情報提供による



流失した仮設橋(小花地大橋):H24年度中の供要開始予定

3. 被害状況 ①建物(8月5日現在)

区分	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	計
一般住宅			1	263	84	348
事業所等				21	3	24
公共施設				30	6	36
その他(小屋等)	16			47	177	240
計	16	0	1	361	270	648



すべて流失した磐越西線(五十島地内):H23年10月15日平常運行

編集後記

「7月新潟・福島大災害」から3ヶ月の時間が流れる。早いのか遅いのか、人により違うが、これから寒さが一段と厳しくなる。
この度の床上浸水で床の張替えがまだ終えない人もいる。大工さんの多忙さもある。
気温が低いとちよつと心配になるが、老人の精神力には脱帽である。みんな笑顔を忘れないのだ。
まだまだもとの生活に戻るには程遠いが、暖かく安心の生活が早くみんなに戻るといいなあ…
(小池)

広報対策特別委員会

委員長 神田 八郎
副委員長 小池 晴郎
委員 宮澤 隆
委員 高橋 勝見
委員 清田 渡子
委員 倉田 政輝
委員 入政 盛子

委員会閉会中の 所管事務調査報告

木質ペレット製造事業他の調査

産業建設

委員長 佐藤 郁夫

◎木質ペレット事業(柏崎市)
 (株)アール・ケー・イー社の製造プラントは当町と同じ御池鉄工所製造プラントでもあり視察地とした。
 当町は年間千トン余のペレット生産を目標とした設備であるが、視察地では年間2・5千トンを目標としている。
 視察地と当町がペレット生産を委託する(株)阿賀ウッド社との相違点は、前者は民営であり後者は「公設民営」である点である。前者は自社で設備をし、販売先も自力で開拓しなければならぬが、後者では設備は町で販売先もすでに公共施設関係と決定していることである。
 当町の委託業者の今後の経営努力を期待するものである。

◎農業法人山室生産組合(柏崎市)
 山室集落は全戸数が70戸と水稲単作兼業地帯である。「農なくして集落の発展はない」をスローガンに「米の直接販売(サトイモの特産化)」「民泊の受入」等女性パワーが活かされている取組みであった。
 ◎石谷町内会(上越市)の取組み
 当集落は総戸数10戸の小集落であるが、振興局の助言等で法政大学の学生との交流を平成12年から受け入れ地域の活性化に取組んでいる。
 「法人の農地集積」「共同作業による経費の削減」「地元産米の高付加価値化」「交流体験(法政大学)～」等後継者づくりに努力している姿に感銘を受けた。



木質ペレットの作業(柏崎市)

新潟・福島豪雨の概要
 平成23年7月27日から30日まで断続的に降り続いた雨は阿賀町に甚大な被害をもたらした。建物では床上浸水が361棟

で床下浸水が270棟であり、断水世帯数は600世帯にも及び被害総額は30億円であった。
 調査報告における質疑として、防災体制の不備・防災訓練の必要性・テレビ電話等の有効活用が上げられ、災害に対する日常の備えの必要性が再認識させられた。又指揮命令系統の徹底や本庁・支所の連携等危機管理のあり方に質疑が集中した。さらにダムの上量調整と放水の関係や東北電力からの説明を求める意見が相次いだ。

阿賀町中央図書館設置に関する視察

総務文教

委員長 石川 太一

去る7月12日(1)阿賀町中央図書館の設置に関する意見書の調査(2)阿賀町公民館図書室の現況調査及び(3)阿賀野市立図書館の視察を実施した。

の作成が急務である。
 (3)阿賀野市立図書館は合併前の旧京ヶ瀬村当時のふるさと創生基金を原資として創設した図書館で、蔵書数や管理運営状況は見事であり、市民の利用も多く学ぶべき点が多々ありました。

(1)については、図書館の現状は十分に機能しているとはいえず、当町の総合計画に基づいた中央図書館の設置は急務であるとありました。
 (2)の町の図書室の現況では、各分館の蔵書の管理把握が不十分であり各小中学校との連携が必要であり、住民が求める情報や知識の習得に必要な資料の提供ができる「図書館」としての施設が望ましい。
 中央図書館の整備充実には阿賀町の将来の町づくりや人材育成のためにも是非とも必要であり合併時の総合計画に基づいた具体的な予算措置も含めた計画書



スペースの広い阿賀野市立図書館

町内全体保育園の現況調査

社会厚生

委員長 石田 守家

(1)とこなみ保育園では、園内の手洗い場が高く園児には不便であり、外周環境が景観的に良好とはいえない。園庭や砂場等の放射線量は基準値を大きく下回っていた。
 (2)もみじ保育園は老朽化が進み一日も早い統合が望まれた。
 (3)わかば保育園では猿の出没から猟友会のパトロールの強化の要請があった。

(7)日野川保育園では屋根塗装や窓の日除け取り付けの要望等があった。
 まとめ
 多様化する保育需要との取組み・保護者との連携・協力関係強化・老朽化施設の整備をしてもみじ保育園・とこなみ保育園の早期統合の実現が望まれる。

(4)鹿瀬保育園では床板が古くワックス塗装が必要である。委員から日出谷保育園との統合も検討する必要があるのではないかと意見も出た。
 (5)日出谷保育園では屋根の雪止め、雨どいの修繕の要望があった。
 (6)上条保育園では藤棚の移動や遊具関係の更新の強い要望があった。



町の将来をになう子供たち

一般質問項目一覧表

9月定例会では、11人の議員から18件の一般質問がおこなわれ、町政全般(特に水害)について、2日間にわたり議論が交されました。

◎ 山口周一 議員(8ページ)

- 1 災害時の告知放送の見直しを
- 2 避難所と避難経路が水没

◎ 五十嵐隆朗 議員(9ページ)

- 1 記録的な豪雨被害の検証を急げ

◎ 高橋渡 議員(10ページ)

- 1 雪下ろし対策の確立を

◎ 宮川弘懿 議員(11ページ)

- 1 新潟・福島豪雨災害を問う

◎ 渡部英夫 議員(12ページ)

- 1 新潟・福島豪雨災害の復旧復興
- 2 津川漕艇場の早期復旧を
- 3 三川支所の復旧と今後

◎ 小池隆晴 議員(13ページ)

- 1 ダムは住民を護れないのか!

◎ 入倉政盛 議員(14ページ)

- 1 防災情報の収集と町民への周知

◎ 猪俣誠一 議員(15ページ)

- 1 住民の安心と安全を守れ
- 2 防災計画は機能したのか

◎ 神田八郎 議員(16ページ)

- 1 災害時のボランティアとの連携を
- 2 牧団地の迂回路を

◎ 宮澤勝見 議員(17ページ)

- 1 陸の孤島をつくらぬ施策を
- 2 災害復旧は原形復旧にあらず
- 3 町・林・農道及び作業道の不断の維持管理が肝要

◎ 清田輝子 議員(18ページ)

- 1 角神周辺の整備計画の実施を

一般質問

議員11人町政を問う

9月補正予算一般会計30億2804万5千円を追加
総額155億4540万1千円に!
 (東日本大震災・7月新潟・福島災害補正となる)

主な補正内容

総務費

- ◎ 情報ネットワーク管理 1949万7千円
- ・ 水損世帯ネットワーク災害復旧工事
- ・ 伝送路災害復旧工事

民生費

- ◎ 平成23年7月新潟・福島豪雨災害対応事業 4億807万3千円
- ・ 排土作業業務委託料
- ・ 災害廃棄物臨時収集業務委託料
- ・ 被災家屋補修委託料
- ・ 被災者生活再建支援金
- ◎ 介護基盤緊急整備事業 2億2860万円
- ◎ 保育園整備事業 4140万9千円



出された災害廃棄物の山

農林水産業費

- ◎ 一般林業振興費 179万8千円
- 森林GIS機能追加業務委託料

災害復旧費

- ◎ 現年発生農業用施設災害復旧事業 3億9900万円
- ◎ 現年発生林道施設災害復旧事業 3億9900万円

専決処分3件、一般会計ほか特別会計6件が原案のとおり承認可決

旧事業

- ◎ 現年発生道路災害復旧事業 5億7710万円
- ◎ 町単農業用施設災害復旧事業 3億4900万円

- ◎ 町単道路災害復旧事業 5610万円
- ◎ 公営住宅災害復旧事業 1億4040万円
- ◎ 三川支所災害復旧事業 1600万7千円
- ◎ 社会教育施設災害復旧事業 5528万円
- ◎ 社会体育施設災害復旧事業 5950万円
- ◎ 集会施設災害復旧事業 1210万円
- ◎ 消防施設災害復旧事業 60万円
- ◎ 一般保健体育総務費 1038万1千円
- ・ トレーニングマシン等購入費

特別会計補正

◎ 郡史編さん事業

- ・ 印刷製本費 645万8千円

◎ 介護保険特別会計

- 1653万3千円
- ◎ 診療所特別会計 141万2千円
- ◎ 簡易水道特別会計 1310万円
- ◎ 下水道事業特別会計 89万円
- ◎ 町営スキー場事業特別会計 870万円
- ◎ 水道事業会計 870万円
- ・ 収益的収入 86万8千円
- ・ 収益的支出 197万1千円



山口 周一 議員

◎災害時の告知放送の見直しを!! ◎避難所と避難経路が水没!!



冠水した国道49号線(石間)

期待はずれの告知放送

質問

7・30水害時の告知放送は期待はずれでした。上流の水量情報は全くなく、朝4時57分に「これから大規模なダム放水が行れます」とながれ、それから1時間ごとにながれましたが、すでに各地域は冠水。なぜ事前の放送がなかったのか伺います。

的確な情報伝達を

町長

停電時の対応も見直ししていますし、今回は区長、消防団と連携を密にし、避難

準備をしてもらいました。ダムの一斉放水の放送は情報の行き違いでありました。この経験則を踏まえ、より的確な情報伝達に焦点を当ててゆきます。

情報は事前に

再質問

情報は事前に出す、告知端末の最大の使命と想っています。避難指示、避難命令を出せば、県警ヘリのお世話にならなかったのでは。

災害に応じた放送を

町長

一挙にサイレンを鳴し、避難も有効な手段と思うが前もって災害に応じた放送を検討課題としたい。

消防署は24時間体制

再々質問

消防署は24時間体制です。避難勧告、避難命令は対策本部が出すと思いますが、放送に関して消防署は関連してありますか。

火災放送のみ

消防長

火災緊急放送は入ってませんが、水害に関しプログラムもないし、今のところ当方では判断できません。

消防署での放送も可能

町長

夜の火災関係は消防独自でできますので、水害などの放送も可能と思うので研究してみます。

主要施設が孤立

質問

避難所が冠水した集落数と、避難経路が冠水し、避難できなかった区はなかったのかお聞きします。

関係機関と連携し対応

あが野南地区ですが、保育所、介護施設、高速インターが孤立しました。町の主要施設が孤立しました。町の主要施設が孤立しないよう、道路改良を望みます。

町長

避難所の冠水地区は6地区、経路が冠水し避難できなかったのは2地区です。今回の水害は長く通行できなかったのは事実なので、関係機関と連携し、対策を進めます。

地区の指令塔が水没

再質問

主要施設が水没する、その地区の人達は大変な思いをします。

三川地区の場合、支所と消防分遣所が水没をした。

町長も三川村時代から相当懲りていると思います。移転する考えはないですか。

これ程の水害経験はない

町長

40年間で何回も経験しましたが、今回は書類など水没回避できなかった。こういう事もあるので考えなければならぬと思っています。結論はもう少し待っていただきたいと思います。

土壌調査を今後も実施

町長

県の調査とあわせ、独自で、町内5ヶ所ほど調査の実施を考えております。

姥堂川の改修を

質問

姥堂川は、洪水時に同じ場所が被害に遭います。一級河川ですので、国県に河川改修を提案していただけないでしょうか。

県に申し入れる

町長

県は、神明橋の兩岸に水防ゲートを設置することにより平成17年度で全体の改修は一応終了したと言っています。今回の洪水で、町道の舗装の洗掘、人家への影響等々、県当局はすでに承知いたしており、この対応を検討してもらうことになっております。



五十嵐 隆 朗 議員

記録的豪雨被害の検証を急げ

訓練の必要性

質問

災害マニュアルの見直しと避難訓練の必要性は、人命にかかわることです。昨年もお願いしましたが、計画予定はありますか。

多様な手だてが必要

町長

災害時の告知放送は、経験則を踏まえながら対応し見直してきていますが、災害はいつも同じ状況で起きず、その時々々に人命優先で即応していくことが鉄則であろうと思います。

避難勧告、指示命令の決断は、非常に難しい点もあります。また、情報端末を含めて多様な手だてが必要であると思っております。

避難指示が遅い

質問

避難勧告、指示が遅かったのではないのでしょうか。またテレビ電話の利用方法に問題があったのではないのでしょうか。

自主防災組織で有効な訓練を

町長

何も大々的にやるばかりでなく、災害対応にかかわる消防団員、職員等で毎年想定訓練などもあってもよいのかと思っております。また、冬に向けて豪雪を含めた形で自主防災組織化を図り有効な訓練も必要と思っております。水防については毎年6月に阿賀の川水防連絡会でやっています。

放射性物質の検査が必要

質問

阿賀野川を利用している浄水場の汚泥など、高濃度セシウムが検出されています。



麒麟館前(津川7区)

放射能は不安です

町長

今回の水害で阿賀野川が運んできました泥は早急に検査が必要ではないでしょうか。

質問

測定数値が低いので安全だと言われても、放射能は不安です。町の監視



高橋 渡 議員

雪下し対策の確立を

除雪困難への 支援確立を

【質問】

昨年度は大雪により雪下しをするにも人手がなくなり、作業を依頼してもできないところが多く見受けられました。町として支援策はいろいろと実施をしています。機動性のある対策をきめ細かく計画をし、実施してはどうか。例えば三川地区の消防団OBで実施していることを全町的に広げるとか、町の窓口に雪下し作業隊を登録する制度を設けてはどうか。

登録制度は検討する

【町長】

雪下しをどこに頼めばいいのかと言った問い合わせは、確かに本年も数件ありました。登録制度も一つの考え方ではありますが、いろいろな取り組みをする中で、雪下しに難渋する皆さんの役に立てるような、

制度化というのは考えていく必要があり、迫られているというふうには認識をいたしておき、一つの課題として取り組まさせていたただければと思っています。

雪下し事故防止の 確立

【質問】

県では事故防止確立に向け検討委員会を立ち上げ、初会合を開いております。町でも克雪住宅やいろいろな助成制度がありますが、普及にはまだまだほど遠いものがあるように思います。事故防止には、まず第一に屋根にあらがないことが第一条件と思う。しかしながら、経済的事情によること

もさることながら阿賀町の普及率は低く、全体で何パーセント位か。県内の特別豪雪地帯指定の市町村の平均普及率は40パーセントと割合と高い位置を占めていると言われています。特に魚沼地域に至っては、高床



津川地区豪雪時雪下し作業

の基礎コンクリートの補助はかなりの高額になっていく。県では克雪住宅の義務化も探っているとの事です。町としても事故防止に向けた更なる検証が必要になってくると思います。町としてその確立に向けたマニュアル化も必要だと思いますがお聞き致します。

克雪住宅の普及促進 取り組みやすいものに

【町長】

雪国にとって、家屋の雪

下しは大変な重労働であり重荷を感じていると同時に高所作業でもある事から危険が伴うという事は皆さんが認識しているところであり、町として克雪住宅普及促進事業を奨励しており、年初に広報しているところです。ちなみに合併した平成17年度から22年までの6年間で12件の実績であり、落雪式4件、融雪式7件、耐雪式1件となっております。県の検討委員会において義務化もその一つとされておりますが、制度はあっても経済的事情により実施できない方も多くおられると思われます。複数人による雪下し誘導など、ソフト面からの普及という事も考えていかなければならぬいし、取り組み易いものに検討していく必要があると思います。



宮川 弘 懿 議員

新潟、福島集中豪雨の災害

テレビ電話による広報に ぬかりはないか

【質問】

テレビ電話の活用が、的確にされていないとの指摘が、多くの地域でされていますが、如何ですか。

【町長】

効果的な利用をしていると思っております。ただ、供用開始をしてから2年目であること、合併して6年目にして初めての大きな災害であったことから足らざるところはよく検証し、この経験を生かしていきたいと思います。

【質問】

洪水と認定する基準、防災本部設置基準との関係、本部が情報を収集するシステム体制は機能しましたか。

【町長】

洪水の明確な基準はございません。災害本部の設置基準は、災害対策基本法に基づいて本部長の私の判断で設置し

ました。

情報収集システムの体制は県あるいは警察及び当該区長さんと連携し、消防団の幹部も入って、情報の共有化を図りながら、対応してまいりました。

【質問】

阿賀野川河川の氾濫により、床上、床下浸水がその流域で多発し、一時避難された方も多くおりましたが、避難準備から避難指示まで段階的な連絡は適宜されましたか。

【町長】

一気に避難指示ではなく遅くとも避難勧告から始まっていると思います。それは事

実と違っておりますことを指摘しております。

疑念の残る ダム管理情報

【質問】

東北電力株の下流域の集落に被害が多く発生しておりますが、この洪水との関係で「阿賀野川ダム管理センタ

ー」と何らかの情報交換がありましたか。

【町長】

当センターからは、洪水量に達し、放流時に地区振興事務所及び津川警察署に報告され、また本町には、豊実ダムは鹿瀬支所、鹿瀬ダムは本庁と鹿瀬支所、揚川ダムは三川支所に報告が入ることになっております。

【質問】

私が、当センターの所長に面会し、ダムが機能不全に陥っていないか尋ねたところ、否定されました。

ところで、河川法48条にダム操作により、流れに著しい変化が生ずる場合は、関係都道府県知事、関係市町村及び関係警察署へ通知することになっています。これに基いた何らかの通知がありましたか。

【町長】

特にありません。



機能不全に陥った発電所(鹿瀬)



新潟・福島豪雨災害の復旧復興について

○津川漕艇場の早期復旧について

○三川支所の復旧と今後について他

渡部 英夫 議員

全国高校総体開催に向けて

質問 県立津川漕艇場の被害状況及び被害額はどのくらいか。来年は全国高校総体開催が決定しており、当町にとつて国体に匹敵するほどの一大イベントであり、若い力の交流により阿賀町の素晴らしさを全国発信できるよう、早期に復旧し来年のボート競技に万全を期して頂きたい。

町長 施設の被害状況は県艇庫及び町艇庫の電気施設、衛生設備がすべて使えない状況で、シャッター全11カ所のほか、浮き浅橋が全損し備品関係ではボート流失が7艇、破損21艇、オールが9セット流失、発艇台ステッキボードなど多くのボート関連部品などの被害が出ております。被害総額としては、県艇庫で1億1千万円、町艇庫並びにB&G艇

庫で5千600万円となっている。県は専決処分で「北信越かがやき総体」に支障がないよう復旧工事に着手しました。町は公立教育施設災害復旧事業で対応すべく申請中であり、高校総体が国体同様盛会に開催できるよう県・町が一体となつて復旧にあたっている。



荒れ狂う阿賀野川(津川漕艇場前)

三川支所の復旧と今後の運営は

質問 この度三川支所が床上浸水し大きな被害となり支所機能を一時閉鎖したり地域住民に多大な迷惑をかけることになりましたが、流

入土砂の搬出や保管書類の整理等職員総出の作業になったことと思います。ことにあたられた職員の皆様方に心より感謝申し上げます。三川支所は過去何度も水害被害にあつていますが、この際支所の移転を考えるとはいかがか。阿賀野川へ県道橋が架かることになれば綱木から五十沢、川口方面の皆さんは当然橋を渡り国道49号に出るということになるのでしようから、どうしても今の場所ではなくてもいいのではないですか。

町長 一時は私も支所の復旧をやめ仮支所をつくつてもと思いましたが、利便性等を考えると今の場所がとりあえずいいのではないかといいことで1階を修復してやっていくこととし、支所の今後については今しばらく待つてほしいと思つています。三川支所のみならず支所全体の問題であり、支所の在り方というものも検討

しなければならぬ時代に入らなければならぬので、これらの対応について今日の回答しか申し上げられないということでご理解いただきたい。

質問 五十島区の河川横断光ケールの切断に対し早期に仮復旧して頂きありがとうございます。本復旧にあつては2度とかかることがないよう願います。

町長 五十島橋への添架の方向で県並びに関係者と調整を進めています。

質問 災害復旧の激務のなかで健康を害している職員はお知らせせんか。そのような気の毒な職員には十分な休養と手厚いケアを願います。

町長 職員の皆さんは強行軍の対応で大変だったと思えます。職員に十分なケアということについては私も同感であります。



ダムは住民を護れないのか？

小池 隆晴 議員

災害の検証が大切

質問 このたびの水害(7月新潟・福島水害)について質問します。

今回の災害は、阿賀町も想定外のゲリラ豪雨により甚大な被害を受けました。降った雨は自然でしょうが、その雨量をダムという人間が造つた人造湖でため制御も人間です。今回の水害で今住んでいるところに見切りをつけ、他のところに移る人も出てきています。何よりも、この災害の検証が大切と考えます。

また、ダムゲート開放に関する情報を開示するように働きかけができるのか、お聞きします。

検証結果の公開を…

町長 阿賀野川水系に於けるダムは発電を目的とした利水



あつという間の洪水(谷沢区)

ダムであり、洪水調整機能は無いということが一般的である。ダム操作については河川法に基づき河川管理者の承認を得たダム操作規定によってなされています。今回の洪水の主要因は只見川水系の方でずつと雨が降り続いてきたことです。只見町、金山町と上流に於ける集中豪雨が大きな要因と思う。

ばなんとも言えません。確かなダム操作規定に基づいたものであつてもこういう手順でやってきたというこの検証結果を公開していただきたい。

シミュレーションが可能ではないか

質問 只見町の反対の群馬県側もかなりの雨量が観測されましたが、八木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダムの3ダムが利水容量の空き容量を有効利用したことにより洪水被害の軽減を図つたというようなことがありました。天気予報がかなり精度が高くなつていきます。洪水のシミュレーションが可能だと思いますか？

今回の水害について、電力さんの検証を聞く機会を得ることができるようをお願いしたい。



神だのみのダム(揚川)

電力当局に申し入れを…

町長 予想を上回る降雨であつたことは間違いのないわけですが、満水を維持しながら余るものは流していけばどうだったのか、聞いてみたいと思ひます。

電力当局に申し入れをしていく必要があると思ひます。



防災情報の収集と町民への周知に問題はなかったか

入倉政盛 議員

災害対策本部の機能を果たしたか

質問1 今回の豪雨災害に対する行政の対応に多くの町民が疑問をもっています。陣頭指揮をとらなければならぬ災害対策本部が実際どのように機能したのか。

町長

27日から1次態勢で情報収集、関係機関との連絡調整、阿賀野川が増水し始めた29日4時半から3次態勢で対応してきました。防災計画に基づきながら避難勧告・避難指示を発令し、消防団員、該当地域の区長さんにも協力を得、消防車両広報車等で住民への周知、戸別訪問、避難誘導、けが人も含めた人的被害がなかったことはその機能が十分果たしえないまでも最低限の機能は果たしたと思っています。

質問2

テレビ電話による町民への



ダムゲート全開(鹿瀬ダム)

の状況報告が適切であったか町民が納得のいく説明を求めます。

町長

今後より以上の効果が上がる対応をしていかなければならないことと情報の受ける側からすればまだまだ足りない部分は多々あったということも十分認識しています。消防団員・町の職員を通じ、自主避難を含めた水害対応の周知活動をくりかえし、道路の冠水、通行止め区間、作業停電の情報も入手しながら情報の提

供を行ってきたと思っています。

質問

新潟地震後の羽越水害は土石流災害となりました。この災害の教訓に立って今回の水害にどう対応されたのか。

町長

これからの防災体制については、私どもは、今までの経験を経験にして、この経験を生かした中での防災計画の見直しというものはやってかなければならないと思っています。

質問

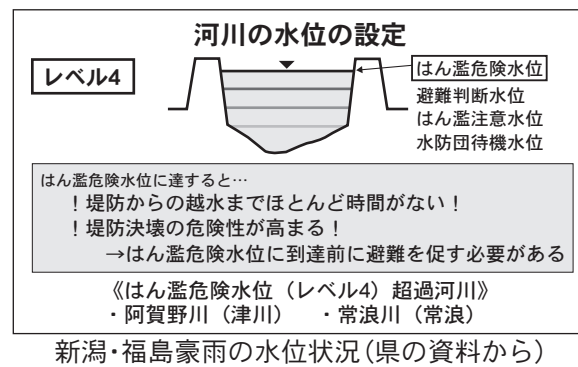
ダム操作を行う東北電力は東日本大震災後の土石流水害を想定されて操作に当たったのか、町は専門家を呼んで調査すべきではないか町長にお伺いします。

町長

私は皆さんと十分意見交換をしながら、東北電力の対応はどうであったか、あるいはこれからの復旧・復興には専門家というのは県

管轄であれば県の出先あるいは本庁と十分意見交換しながら対応していきたいと思っています。

ダムの操作によってということについては、ダム管理者である東北電力に十分ダムの操作規定のつとをやっていますというもののこの経緯というものについてダム管理者からそういった要因についてこれからお聞きして、その検証をした結果を皆さんと一緒に聞きだしてみたいと申し上げているところです。



住民の安全と安心を守れ!

猪俣誠一 議員

重点行動は命を犠牲にしない

町長

常に緩急あるとき、いつにおいても即応できる行政の対応が求められており、常に対応してきている。インフラ整備等、安全のための整備は、至難なところであり、国・県等の支援をいただき、逐次進めてきている。

質問

防災は、事前の備えである予見、災害時の情報と組織の一元管理、被災後の支援に分けられる。人的防災が自然現象に勝てると思いませんが、町民の生命と財産を守る義務を有する町にあつては、防災対策が重要な課題です。

町の防災理念の根幹を成す「いつ、どこで、どのような起こるか分からない災害に備えなければならない」として、基本計画の本意と所信を伺う。

防災計画は機能したのか

質問

生命・財産を主眼に、命が犠牲に成らないことを重点に置いた行動をとった。足らざるところ多く、災害を教訓とし、新たな前進をしてゆく。

消防団が不眠不休で活動

町長

円滑な活動の観点から、防災計画での指揮命令は、情報収集も含め、的確に機能したのか。また、人的被害の観点から、住民への情報提供は適切であったのかを伺う。

情報の孤立をなくせ

質問

安否の確認も含め、情報の孤立した集落を作ってはならない。緊急時の情報の収集・伝達のため、町は携帯電話の不感地帯の解消を早急に図るべきである。

整備に努力

町長

情報の確実な伝達については、言われる通りで、ちゃんとしたものに整備できるように努力したい。



切断(点線力所)された光ケーブル(五十島地内)



神田 八郎 議員

ボランティアセンターでの コーディネーターの養成が大切

ボランティアセンター 活動での反省点は

質問 この度の〈新潟・福島大豪雨〉において、被災地での消防団及び町職員の献身的な活動は言うに及ばず、約10日間での2千名余のボランティアの方々の無償の支援にはただただ感謝です。

当町での災害ボランティアセンターは8月1日から始動したわけですが、その活動での反省点はありますか。

現在ボランティアセンター において検討中

町長 現在ボランティアセンター及び災害対策本部で検証中ですが、概要がまとまり次第に報告させていただきます。

社会福祉協議会を中心にセンターを立ち上げたわけですが、周辺の社協の協力もありうまく機能してくれ

たと感謝です。ボランティアの方は青森県から奈良県までの17県から参加してもらいましたし、県内では18市町村で31団体。2、245人でした。

自衛隊の要請の条件は

質問

この度の災害では被災地の区長さんの働きも大きかったと思いますが、ある地区では自衛隊要請の話も出たやに聞いておりますがその要請条件は。

手続きが少し煩雑

町長

単独町村の要請はあまり前例が無いようですが、広域的であることも要件です。知事からも時にどうかとの声もありますが手続きも煩雑で、公共性も必要でありかなりハードルが高いというのも事実です。

義援金の用途は

質問

ボランティアコーディネーター の養成が肝要では

質問

ボランティアセンターを立ち上げるに際し、多くの関係機関の指導があつたようですが、当町においても



ボランティアの皆さん、本当にご苦労様です。

そのコーディネーター、即ち人材の養成が大切かと思えますがどうでしょう。

牧団地から公道に抜ける 軽易な道路の開設を

質問

この度の水害で白崎の牧団地は4〜5日間孤立しました。団地裏の三川小中学校へ抜ける軽易な道路の開設はできないものでしょうか。

町長

牧団地の裏の学校に抜ける所にある沢も沢水が出るので大変危険なんです。県当局も県道の検討をしたいと言っていますが、せっかくの指摘なので今後、検討したいと思えます。

災害時の孤島解消のために地域を結ぶ農林道を!! ウ回路に対応する整備を急げ!! 災害復旧を旧来手法からの改善を図れ そして常に側溝等の維持管理を怠るな!!

宮澤 勝見 議員

質問①

孤島とは交通の便が極めて悪いと言う意味なので迂回路と云う交通の利便を問いますので孤立は使いません。今回の豪雨は正に想定外でした。しかし考えれば気象の変化に過ぎず、地球上の75%が海洋、湖沼、河川であり流入する大半が水蒸気となつて常に雨になる訳です。温暖化が北上している今豪雨は度々起きる可能性があります。それに備えなければなりません。今回の災害で国道49号、鉄道、高速道が不通になり、津川と三川、津川と鹿瀬が孤島化した。町内には町道、林道農道で約1,000kmを超えるが先ずは津川、三川間の角島から黒岩、スキー場線と天満と鹿瀬間の林道をハザードマップに入れる位のつもりで整備を求めたい。道路は云うまでもなくライフラインの重要な一つであります。町長のご見解を伺います。

質問②

私は産業建設委員会です。災害直後に町内各地域の被災箇所を視察したが災害復旧は現型復旧ではだめなんです。この被害は何が原因かを検証し二度と同じ被害を繰り返さないことです。行政側は国県の査定に絡み要求、要望を求めると探採上うまくいかないことを恐れて現型復旧をしてしまう。その都度迷惑を受けるのは住民であることを考えて頂きたい。特に町道、農林道の崩落及び決壊箇所を見ると側溝等の維持管理のずさんさが被害を大きくしていることが顕著だった。民間人を雇用し維持管理した方が最終的には財政上プラスと考えるが町長のご見解を伺います。



早く避難をしてください(谷沢区)

いきます。法律に定められた災害復旧は原型復旧なんです。先ずは早く今回の災害を復旧をしていきたくて考えています。町道、農道、林道のふだんの維持管理を緊急雇用対策も活用しております。町道管理には土木費の25%を計上し取り組んでおりますので原型復旧後に改良を加え議員の提言に努力を致します。

町長

宮澤議員の持論を展開されたと思ひそのことに反論はありません。参考にさせて頂きたいと思っております。云われるように陸の孤島にしてはいけません。道路網の整備は逐次してはいますが一層重点を置いて、やって



泥処理がこれまたひと苦労(津川区)

ちょうみんのひろば



若ものの提言
阿部勘吉さん(三川)

10月2日私達の区で神社大祭があった。いつの年も10月の第一日曜日に行われる。10年に一度回ってくるお宮当番という制度がある。これが厄介で親父の代が去り、回ってきた当番の集りに出てみるが何もわからない。

知らない人ばかりの集団を誰がどのようにリーダーとしてできるのか？確かに古いことを現代に合わせて合理的にすることも大切なことだが、



谷沢神社

来るものではないだろうか。私たちに気持の余裕が持てる日が来るのだろうか？



この町で子どもと共に
井上直美さん(鹿瀬)

生まれ育った阿賀町を7年ほど離れたが結婚を機にもどり、今は仕事や家事、子育てに奮闘中の毎日です。離れてみると改めて、この町の自然の豊かさや人と人との温かい関わりがいかにか心地よいものであるか感じる事ができました。ですが、年々子どもの数が減少し、普段の公園の様子や行事などはさびしく感じることがあります。

だからと言って何もかも合理的とは行かないだろう。年代によって価値観の違いから文化も大きく変わる。良い、悪いの問題ではないが、価値観が多様化している現代意見の交換が大事と考えるがこの辺のところもまたいろいろと問題を抱えている。意見交換の場を設けても参加者が少ないと聞く。私なりに無理に原因を見つければ、雇用の安定、収入の安定の無さから



日々成長の我が子たち

角神周辺の整備計画の実施を！



清田輝子 議員

なぜ急がぬ角神整備

質問

平成23年度、阿賀町角神観光振興計画について伺います。合併から早7年目になります。角神周辺は、当町にとって観光名所であり

ます。宿泊施設、日帰り温泉、旅行村、バンガロー、そして釣堀と、1ヶ所にこれだけ誘客のできる条件がすべて揃っています。しかしなぜ条件が揃っているにもかかわらず観光地としての光があたらないのでしょうか。交通の便としても、津川インターからの道路も一本道であり、利便性に優れていません。



手入れが必要な角神周辺

力が向上する整備を図って参りたいと考えています。具体的な計画としては、赤崎山の森林公園、赤崎荘、赤湯温泉、旅行村、そしてレークサイド角神までの自然とその景観を生か

町づくり交付金活用で整備を進める

町長



すばらしい椿園(角神)

旧鹿瀬町時代から角神地域周辺は観光の拠点として位置づけられ、当町においても需要性のある観光地でもあります。今後もさらに魅

しながら連続性を持たせた観光散策公園として、整備をする計画であります。これは町づくり交付金などを活用し、本年度から3ヶ年計画で整備を進めるものです。合わせて、赤崎山においては県事業として希少動植物の保護観察を目的とした散策路などの整備。角神ダム周辺においては一昨年から新潟県雪椿研究会との連携事業によってユキツバキの植栽を行っています。本年度も、3000本の苗木を植える予定です。椿の実からは、椿油を採取し、美容や、食用に利用し新たな特産資源として活用します。

国土交通省の補助事業として新潟大学と地元企業と共同で積極的に研究開発をして参りたいと思います。

観光活性化の視点の中心として角神周辺の事業計画については、今後も折に触れ、皆さんの意見を参考に取組んでまいります。

参考とする

町長



椿の実

当町もいろいろな観光関係の団体に加入しています。いろいろなところでその機会をとらえていかなければならぬと思います。

美しい町づくりをめざして

質問

角神ダム(国道459)に見晴し台があります。角神周辺を一望に見渡せる場所です。しかし、今は周辺が荒れています。「日本で最も美しい村」という加盟連合があつて全国で39町村が加盟していますが、当町も加盟をして美しい町づくりをめざしてはいかがでしょうか。